

ジャーナリスト

JAPAN CONGRESS OF JOURNALISTS
日本ジャーナリスト会議 (JCJ)

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8 松村ビル401号 電話03-3291-6475 FAX.03-3291-6478
メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp URL http://www.jcj.gr.jp

年間購読料3000円(送料込み) 振替-00190-2-76501

THE JOURNALIST

2006.1.25

新春
対談

記者は呻吟、葛藤しているか

役割果たさぬ大手メディア

2005年は歴史に何を残して記憶されるだろう。総選挙、米軍再編、NHK番組改変報道……。そしてメディア・ジャーナリズムは、それらにどう関わったのか。これからの展望を共に、ジャーナリストの斎藤貴男さん、岩波書店「世界」編集長の岡本厚さんに語っていただいた。進行は守屋龍一JCJ事務局長。

米メディア戦略に学んだ小泉自民党

岡本 去年の9・11選挙に關するメディアの責任は非常に大きいと思う。小泉自民党はメディア戦略を立てたわけですね。たゞは新聞を読むのは50代以上、テレビもきちんと見るのは40代。30代以下はザッピング。だから短く強い言葉を使えばいい。乱暴な言葉でも印象が強い。結果的に「刺客」騒ぎにもメディアは利用されました。そういうメディア戦略に對抗できないメディア、これが最近のメディアを考へるべきの第一の問題でしょう。

斎藤 選挙の後で新聞や雑誌で検証記事がありましたね。多くはテレビのワイドショーのディレクターに話を聞いてるけれど、要するに「面白んだからしょうがないじゃないか」というところに落ちてしまっている。小泉氏や世耕氏にメディア戦略はあるでしょう。それが巧みで凄まじいものであれば、僕も正面きって取材するなり議論する気にもなるでしょうが、それほどのものではないとも思えない。問題は彼らにはなく、メディア側にある。

今度の選挙など権力者は国民をなめているかと思えない。そこまで最低の有権者がまずあるわけです。せめて真に当にきちんとした情報を提供するのがマスコミの仕事です。

「景気よくなる」
リストラするほど

岡本 これだけひどい小泉政権が命脈を保っているのは、

マスメディアの責任が大きい。景気がよくなったといっても、これだけリストラし、マスコミは戦後最低のレベルではないですか。民放連で、テレビは政治を扱ってほしくないという自主規制してほしくないのものです。

岡本 メディア戦略まで表に出すというのは、結局出して

す。商売として当然の話なのに、それすらやらなかった。これは万死に値しますね。マスコミは戦後最低のレベルではないですか。民放連で、テレビは政治を扱ってほしくないという自主規制してほしくないのものです。

も次の選挙に影響を与えないと思っているだろう。有権者もマスコミも馬鹿にされてる。自民党はアメリカの選挙戦略などを学習しているようにですね。

斎藤 高度大衆社会で、以前のようなドブ板選挙ではなく、メディア選挙になっていく。アメリカの大統領選挙などもショーアップされていまして、それを学んで応用したことは間違いないでしょうね。

でもジャーナリストは素人ではない。情報操作は昨日今日始まった問題ではない。記者会見に出ることもあって、あ

りです。僕は漫画が好きだからよくわかりますが、週

手があり、それは自分とは違う価値観を持っている存在で

だ。だからよくわかりますが、週

手があり、それは自分とは違う価値観を持っている存在で

「景気よくなる」
リストラするほど

いま新聞は景気が回復基調だと簡単に書いてくれるけれど、それは社長たちにアンケートを取った結果だけなので

すね。これだけ労働者を首に

して雇用を海外にもっていき

ば、それは収益は上がるでしょう。それを経営者に聞いた

だけで景気が良くなったなどというのではどこにジャーナリズムの価値基準があるのか。今はリストラが激しい

が死んだという。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

いる。日本では毎年3万人以上の自殺者が出て

情報出さぬは万死に値

酷い時代、真剣な問いを



斎藤貴男さん

「景気よくなる」という根拠のない話ばかりで、細かい事実を追いかけてみると、だんだん自分が何をやらなくてはいいのかわからなくなってしまっています。でも、もともとジャーナリストというのは問いを發するもの

なことを、大声で言い立てるようになった。テレビでも雑誌でも、中国や北朝鮮のことなど反論がないことをいいことに、言いたい放題。大きな声でギョッとさせるようなことを言わないと、誰も聞かないと思うのでしょ。

斎藤 中国が朝鮮に侵略されようという漫画じみた煽

りです。日本社会は次第に他者が見えなくなっていますね。国内の議論は内向きでパーチ

ャルです。外交というのは相



岡本厚さん

「明日逮捕の見込み」とか、つまらないことを追いかけて

いる。人々の価値観が多様化していかないときは、それでいいのかもしれない。新聞記事は変わったことが書いてある

と大きく扱われるのです。企業が提議したのはこの業界初めてだ、と書くと3段の扱い

が仕事じゃないですか。斎藤 紙面をみるとそれなり

のフアクトや結論じみたことが書いてある。でもそこには

新聞記者たちが取材をして、それについて自分の中で考

えたり悩んだりという、呻吟とか葛藤が全く感じられない。すげえ平板です。

岡本 「これは初めて」とか「明日逮捕の見込み」とか、つまらないことを追いかけて

「景気よくなる」とか、つまらないことを追いかけて

いる。人々の価値観が多様化していかないときは、それでいいのかもしれない。新聞記事は変わったことが書いてある

と大きく扱われるのです。企業が提議したのはこの業界初めてだ、と書くと3段の扱い

りです。日本社会は次第に他者が見えなくなっていますね。国内の議論は内向きでパーチ

ャルです。外交というのは相

りです。日本社会は次第に他者が見えなくなっていますね。国内の議論は内向きでパーチ

ャルです。外交というのは相

りです。日本社会は次第に他者が見えなくなっていますね。国内の議論は内向きでパーチ

ャルです。外交というのは相

りです。日本社会は次第に他者が見えなくなっていますね。国内の議論は内向きでパーチ

好評ノ『ジャーナリストとして生きる』

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

J CJ 50周年を記念して発

行された『ジャーナリストとして生きる』は、J CJ 活動

J CJ 50周年を記念して発

憲法の現場

シリーズ

「今日ほど国際化が進んだ状況の中で、なぜ、この判決が下されたのか納得がいけない。日本はなんと悲しい国か。植民地支配や戦後責任の問題に正面から取り組もうとしない姿勢が、あらためてはつきりした」

05年1月26日、管理職試験を受けられなかったのは違法だとして、東京都を相手取り慰謝料などを求めていたいわゆる「国籍条項」訴訟で、最高裁大法廷（裁判長・田中顕長官）は、受験を拒否した都の対応は、労働基準法3条、法の下平等を定めた憲法14条1項に違反しないとの初め

の判断を示した。その上で、一律の受験拒否を違法と判断して、都の保健師で在日朝鮮人女性・鄭香均（ジョン・ヒャンギョン）さんに慰謝料40万円を支払うように慰謝料40万円を支払うように

（1面のつぎ）
齋藤 個人情報保護法でも、犯罪被害者の匿名にしろ、新聞協会は一応反対する。でも交渉の過程で「あなたたちは別だから」と頭をなでられていくのだと思えない。交渉すればするほど内側に取り込まれていく。

岡本 エンベッドだね。齋藤 雑誌は選別されるし、フリーなどは存在そのものがあってはならない扱いになっていく。新聞協会などの団体は企業としての新聞社の生き残りを考えるばかりではなく、ジャーナリズムのあり方

もある同胞のクリニクに看護師として勤務。在日1世の相談に乗り、なかには鄭さんのようになりたいと看護師になった同胞もいる。

日本以外で働くため保健師になりたいと志し、88年、外国籍としては初めて、都の保健師に採用される。93年、上司から管理職試験の受験を勧められ受験申込書を出したところ、外国籍という理由から受付さえ拒否された。都は「当然の法理」を盾に受験を拒否したのである。

「子供の頃からたかくさんの壁が立ちばたかかってきたが、この壁の前でたじろげば、後進の道もふさがる。管理職にないのではと、

「当然の法理」というあいまいな見解に基づき、管理職への昇格を職種によらず一律に否定する、極めて差別的な日本の行政システムは、在日朝鮮人などに受験の機会を与えないのではと、

「後世が差別を受けないようにするため」というのが、地方自治法および地方公務員法違反であるばかりか、外国籍者の国籍条項の問題を巧みに利用して、行政裁量の優位性、住民より公務員が優位であること

を明らかにしたとともに、最高裁の判決では、「公権を明らかにしたとともに、主権を行使する地方公務員」という

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「後世が差別を受けないようにするため」というのが、地方自治法および地方公務員法違反であるばかりか、外国籍者の国籍条項の問題を巧みに利用して、行政裁量の優位性、住民より公務員が優位であること

を明らかにしたとともに、最高裁の判決では、「公権を明らかにしたとともに、主権を行使する地方公務員」という

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった



「後の世代が差別を受けないようにするため提訴した」と語る鄭香均さん

第14条 昇格否定…日本は悲しい国だ

高校の教師が看護学校の資格をとり、川崎市桜本をもう少しまじめに考えてもらいたい。結局、当局にとって都合のいい情報機関だけが生き残っていく。僕は記者クラブには必ずしも否定的ではなかった。記者クラブに入れないところがあるのは問題だけれど、記者クラブは弱い新聞も入っています。そこが批判的なことを書いてもクラブに限りオミットされないということがある。記者クラブがなくなれば言うことを聞かなくなるとは、肉体的な活動が許せないのではないか。同じ文芸をネットで流すことは統制で

「当然の法理」というあいまいな見解に基づき、管理職への昇格を職種によらず一律に否定する、極めて差別的な日本の行政システムは、在日朝鮮人などに受験の機会を与えないのではと、

「後世が差別を受けないようにするため」というのが、地方自治法および地方公務員法違反であるばかりか、外国籍者の国籍条項の問題を巧みに利用して、行政裁量の優位性、住民より公務員が優位であること

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった



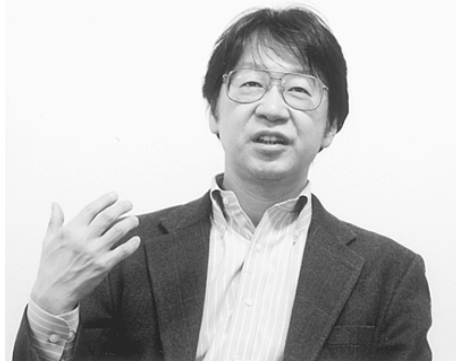
岡本氏

「憲法と基本的人権の証し」となる最高裁を信じて、この10年間、未解決の紛争を抱え、耐え難い苦痛や葛藤があった

春談 新対

怒り忘れず言葉届ける

斎藤氏



トルの滑走路 島市長選挙、誰だれ何票、誰だれ何票」とそれだけです。最近、新聞はミスリードするところではないかと思えます。

島にある平良(ひらら)市など伊良部町とが町村合併して10月1日から宮古島市になった。宮古島市長選挙、誰だれ何票、誰だれ何票」とそれだけです。最近、新聞はミスリードするところではないかと思えます。

NHKにはいい番組はいっぱいあるけど、この前のような政治との関係が問題なので。民営化になれば中身の番組がほとんどなくなるでしょう。それでいて自民党との関わりはますます深くなっています。準公務員みたいなところのない一般サラリーマンになれば、自由になるのではなくて、権力に積極的に服従することで保身を図るというメカニズムになるのでは。

NHK、お上のものではない公共性 岡本 竹中さんの議論では、つぎのNHK民営化です。今年9月、小泉氏が辞めるまでどうなるか。

NHK、お上のものではない公共性 岡本 竹中さんの議論では、つぎのNHK民営化です。今年9月、小泉氏が辞めるまでどうなるか。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

去年の3月、下地島に自衛隊を駐屯させようという話が浮上している事実も、全国紙を「タブース」で検索しても全然載っていません。たまに朝日、毎日載っていても西部本社版なのです。

リレー時評



東京情報大学講師 江草普二

耐震偽装、テレビ言論の影響

帰省の折、母親との食卓で「耐震偽装マンション事件」が話題に上った。悪いのは建設会社や販売会社であり、賠償はまずそれらが行うべきで、安易に税金を投入するのは納得がいかない、と母は言う。若い時から共働きをし、寡婦になってから家計を支え、70過ぎの現在も職を持っている。税金を実感し続けた者の本音である。しかしそれは余りにもステレオタイプだ。母はこうも言う。広げて安

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

母の頭の中には、どうやら「焼け太り」という言葉

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

い物件を疑わなかった住人にも落ち度がある。そこには、高層マンションを身近に感じ

勝手放題「竹中改革」 NHK・民放の二元体制、危険水域に視聴者と反対の大運動を

「通信」と放送の融合」を声高に叫ぶ竹中総務相の動きは、虎(小泉)の威を借りて、暴走を止める気配がない。放送の公共性を支えてきたNHKと民放の二元体制が、危険水域に入ってきた。

竹中総務相は就任以来「日

竹中総務相は就任以来「日

本にはどうして米国のタイムワナーのような巨大企業が「通信」と放送の融合」の論拠となっている。この考えを実現すべく、同相は昨年12月、「通信と放送の在り方に関する懇談会」を設置し、座長に松原聡東洋大教授を起用した。同教授は郵政民営化の旗振り役で、放送事業との関わりは薄い。

一方、政府の規制改革・民間開放推進会議(宮内義彦議長)は昨年12月21日、小泉首相に第2次答申を提出。その中で、NHK地上デジタル放送のスクランブル化について、06年の早い時期に結論を出すよう提言した。

竹中総務相の「情報通信省」構想のきっかけとなった「省庁再々編」について、同相は「ポスト小泉の最大の焦点の一つ」と述べている。国民共有の財産である放送を自民党総裁選の争点にして政争

アメリカの一部としての日本は、第二次大戦のような目

アメリカの一部としての日本は、第二次大戦のような目

アメリカの一部としての日本は、第二次大戦のような目

アメリカの一部としての日本は、第二次大戦のような目

世界で戦争して、国内では格差社会を作り、下流になった人が今でも稼いでいた金も自分のものにする。それは一面危険だけど、監視社会にして強権的な警察権力で守られる。それが恥ずかしい人にとっては、これほど嬉しい時代はない。

だげと大方の人には、海外から軍力によって富を収奪してやることもできる。事あって、かつその富も自分のところに回ってくるわけではない。そのコンプレックスを切な部分を改める気がないんです。自民党の監督下に置かれていて、なせ金を払わなければならないのかという話ですね。これだけで決定的に違ってくる。

岡本 格差社会は深刻な問題だけど、おそらく路上でたむろしている若者たちは言葉さなお世話という反応が返ってくることに気づく。

20日に初会合を開く懇談会で竹中総務相はNHK「改革」問題に加えて、通信・放送行政一元化問題も持ち出す構えだ。

竹中総務相は、懇談会では「放送全体で4兆円、通信で16兆円の売り上げた。これを短期間でいかに2倍の40兆円にするのかという議論をした」(日経、1月5日)と述べている。要するに、放送をつかさどる総務大臣の頭には、産業規模の拡大しかないらしい。放送の公共性やマスメディア集中排除原則など、放送の根幹に関わる問題は、二の次、三の次である。

えたりもする。高みから物を言っていると聞かれるけど、そこで発言をやめてはいけないので、傳うに思われない発言を工夫したい。それは小泉氏みたいに難しい部分を剥ぎ取って、子供でも分かることを言うのより、はるかに苦労を伴います。でも物を書く商売をやっているからには、そこを何とかしていきたい。

構成 保坂義久 写真 瀧本茂浩

大野晃の スポーツコラム

トリノ冬季五輪が目前に迫った。2月10日の開幕へ向け、マスメディアによる「がんばれ日本」のボルテージが上がっている。

イタリアでの冬季五輪開催は猪谷千春・国際オリンピック委員会副会長がアルペンスキー回転2位で、日本人初の冬季五輪メダリストとなった1956年のコルチナ・ダンペッツオ大会以来50年ぶり。

何が飛び出す？ トリノ五輪

大会以来12年ぶりに、冬季五輪が本場・欧州に戻ったことだ。「環境にやさしい五輪」を最大のテーマとしたトリノ大会では、競技者たちによって「サラエボの平和」が強くアピールされた。「平

和」「環境」を重視する五輪の原点帰りのだった。その後、98年長野大会は開発優先の商業主義が色濃く、2002年米國・ソルトレークシティー大会はブッシュ米政権による愛国主義高揚

の場となり、五輪は理念を失ったと批判された。そこで、伝統のある欧州での開催で、興行性をより強めた五輪を象徴しているが、競技者やファンの意識は変わってきている。

イタリアにはドーピング(禁止薬物使用)違反に厳しい国内法がある。それだけに、スポーツを健全に楽しむ陽気な雰囲気が大会を包むだろう。世界的な自動車会社フィアットの本社地であり、開催決定時には「フィアット・マネーで五輪を買った」と言え直したものの、五輪の商業主義的運営はさらに拡大しようとする。観光・リゾート地域としての売り込みも盛んに行われるだろう。だからこそ競技者たちやファンから、五輪の理想を求める新たな動きが起こりそうなのだ。

残念ながら日本マスメディアの大会前報道では、これらが伝わっていない。日本代表の話題ばかりで、現地報告もテロ対策の紹介や財政難の悩み、大会盛り上げ不足など大会関係者の動きが中心だ。改めて五輪報道の意味を考え直し、世界の人々とスポーツの楽しさがわかる多角的な報道に努力して欲しい。

イタリア統一をリードした旧サルデーニア王国の古都とアルプスに連なる山々が、自然の中で平和の祭典をうたいあげよう。

「スポーツジャーナリスト」の事前差し止めは表現の自由に対する重大な制約であり、慎重な上にも慎重な対応が要求されるべきである」と説いた。出版社、とくに中小の社長の逮捕は出版差し止めより打撃が大きく、いっそう慎重な対応が必要だと私は思う。

鹿砦社事件を見れば、日本もカンボジアのようにないかかわらなくて済む。裁判官も、鹿砦社のアルゼンチン版第3巻、第4巻の出版差し止めを却下している。ところで、「週刊文春」出版差し止めを却下した04年3月の東京高裁決定は、「出版物

残念ながら日本マスメディアの大会前報道では、これらが伝わっていない。日本代表の話題ばかりで、現地報告もテロ対策の紹介や財政難の悩み、大会盛り上げ不足など大会関係者の動きが中心だ。改めて五輪報道の意味を考え直し、世界の人々とスポーツの楽しさがわかる多角的な報道に努力して欲しい。

カンボジアで日本で「名誉毀損」逮捕 マスコミはなぜ看過するのか

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

日本の事件とは、神戸の出版社・鹿砦社の松岡利康社長の逮捕(昨年7月12日)、起訴と拘留だ。名誉毀損罪による逮捕、起訴という点で、カンボジアの状況と共通する。起訴状によれば、松岡氏らは、季刊雑誌「スキヤンダル大戦争」などで、阪神元スカウトの転落死(警察は自殺と

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

だが、だからといってなぜ、事情聴取に応じてきた松岡氏をいきなり逮捕したのか。すでに半年に及ぶ拘留も異常だ。パチンコ・パチスロ30兆円産業の大手で、警察幹部が天下るアルゼンチンへの批判には、高い公共性がある。現に神戸地裁尼崎支部も、鹿砦社のアルゼンチン版第3巻、第4巻の出版差し止めを却下している。ところで、「週刊文春」出版差し止めを却下した04年3月の東京高裁決定は、「出版物

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

鹿砦社社長、異常な長期拘留 アルゼンチン批判に高い公共性

だが、だからといってなぜ、事情聴取に応じてきた松岡氏をいきなり逮捕したのか。すでに半年に及ぶ拘留も異常だ。パチンコ・パチスロ30兆円産業の大手で、警察幹部が天下るアルゼンチンへの批判には、高い公共性がある。現に神戸地裁尼崎支部も、鹿砦社のアルゼンチン版第3巻、第4巻の出版差し止めを却下している。ところで、「週刊文春」出版差し止めを却下した04年3月の東京高裁決定は、「出版物

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

「政府批判で逮捕・有罪」「名誉毀損」理由に「野党党首や記者ら次々」1月7日付の「朝日新聞」国際面にこんな見出しの記事が載った。バンコク発(瀨秋彦記者)の記事によれば、カンボジアで政府・与党を批判する議員やジャーナリスト、人権活動家が「名誉毀損」理由に相次いで逮捕されている。まさに「言論の自由を脅かす」事態だが、日本での類似のこの事件はほとんど知られていない。

討論集会「わじわじわいいか？」

高揚する反基地感情 平和運動に新たな風

「ゴメン、わじわじわいいか？」県民大戦会議」と名付けたユニークな討論集会が昨年12月18日、沖繩県西原町の沖繩キリスト教学院大学体育館で開催された。

「わじわじわいいか？」はウチナーグチで「怒る」の意味。「ゴメン、わじわじわいいか？」のネーミングには、ふだんいわれる運動には参加していないけれど、普天間基地の県内移設をはじめ、沖繩へのさらなる基地負担を強める米軍再編の現状に「わじわじわいいか？」を上げる県民の気持ちが表

「わじわじわいいか？」のネーミングには、ふだんいわれる運動には参加していないけれど、普天間基地の県内移設をはじめ、沖繩へのさらなる基地負担を強める米軍再編の現状に「わじわじわいいか？」を上げる県民の気持ちが表

「わじわじわいいか？」のネーミングには、ふだんいわれる運動には参加していないけれど、普天間基地の県内移設をはじめ、沖繩へのさらなる基地負担を強める米軍再編の現状に「わじわじわいいか？」を上げる県民の気持ちが表

「わじわじわいいか？」のネーミングには、ふだんいわれる運動には参加していないけれど、普天間基地の県内移設をはじめ、沖繩へのさらなる基地負担を強める米軍再編の現状に「わじわじわいいか？」を上げる県民の気持ちが表

「わじわじわいいか？」のネーミングには、ふだんいわれる運動には参加していないけれど、普天間基地の県内移設をはじめ、沖繩へのさらなる基地負担を強める米軍再編の現状に「わじわじわいいか？」を上げる県民の気持ちが表

「わじわじわいいか？」のネーミングには、ふだんいわれる運動には参加していないけれど、普天間基地の県内移設をはじめ、沖繩へのさらなる基地負担を強める米軍再編の現状に「わじわじわいいか？」を上げる県民の気持ちが表

仲さんの



テレビの本音

テレビは、さまざまな反省をしながら新年を迎えた。「反省」の一つは、「小泉劇場」の宣伝の片棒を担いだのは、テレビだった。はずである。ところがどうだ。年末年始番組は、自分たちが片棒担いで当選させた「小泉劇場」を競って取り上げた。理由は簡単、「視聴率」である。視聴率さえ取れば、反省などどうでもよいのである。

ある経済官庁の幹部は、「竹中さんのやう」としていることは、放送通信事業に、世界のメデイアと競争できる力を付けさせること、そのメデイアを通じてアニメや映画、音楽などのコンテンツを世界

視聴率を最優先

進む情報産業化

憲法問題を軽視

「NHKも例外ではなかった。『紅白歌合戦』の力の入れ様は異様だった。NHKも、そろそろ視聴率競争から脱却して、新しい路線を目指さなくてはならない。情報通信省「構想なるものが急浮上してきた。小泉内閣の「改革のスピードを上げる」というテーマに沿って、こんどは、IT(情報技術)や通信・放送を融合させるために、行政の

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

「世界はメデイアと競争できる力をつけることができる」と言っていた人を思い出した。TBS(東京放送)株取得に動いた時の桑天・三木谷社長の発言である。郵政民営化では、日本とアメリカの金融資本が郵貯、簡

中継レポート

連載

琉球放送とFM沖繩の、いずれも人気DJの2人が司会を務め、普天間移設の予定地とされた名護市東海岸住民の話や、演劇集団フリーエンジヨイカンパニーによる舞台劇「基地を笑え！お笑い米軍基地」、普天間高校放送部制作のテレビドキュメンタリー、コザ高校吹奏楽部のジャズ演

朝日・読売の「共闘宣言」を読む

戦争責任かくす巧みな話術

憲法改正に執着

朝日新聞発行の『論座』2月号が、渡辺恒雄氏(読売主筆)が朝日と「共闘宣言」なる見出しを表紙に掲げ、話題を呼んだ。内容は、渡辺主筆と朝日新聞・若宮啓文論説主筆が読売新聞東京本社で行った小泉首相の靖国参拝、アジア外交などについての対談。

渡辺主筆は、学生時代から反戦を主張してきた、徴兵され二等兵として酷使された、軍の首脳や政治家に対する憎しみが消えない、などと体験を語り、靖国神社については「あの遊就館がおかしい」と発言。その思いが、05年6月4日の社説「国立追悼施設の建立を急げ」につながったと述べる。

戦争責任論議がひとしきり続き、軍政府首脳らの責任の軽重を記事にするつもりだ(渡辺)などと、A級戦犯の名前が飛び交うが、昭和天皇の責任については「天皇の名の下にしよう(渡辺)の突如として占領地ガザからの撤退に踏み切り、中東和平プロセス再開に道を開いた。シャロン首相は昨年11月、右派与党リクードの党首でありながら、同党を離脱して中道寄りの新党カディマを立ち上げるといふ奇策に出た。世

一語があるだけ。本格的な歴史検証とは話がずれてくる。靖国神社に話が戻り、若宮(首相の参拝が結果的に「A級戦犯がなげ悪い」「A級戦犯はぬれぬじやないか」という遊就館につながる人たちは喜ばせ、力をつけさせていること)を受けて、渡辺(僕はそういう危険を感じ始めたので、この辺でマイナスの連鎖をどこかで断ち切つて、国際関係も正常化するために、日本がちゃんとした侵略の歴史というものを検証して、「事実、あれは侵略戦争であった」という認識を確定し、国民の大多数がそれを共有するための作業を始めたわけだ)とたし、それは結果論であって、「中国や韓国の反日を収めるために歴史認識を変えろ」というんじゃないんだよ、僕は、若宮(それは大歓迎です。ところが憲法問題に話が移ると、渡辺主筆は「世界中に

軍を持たない国家はない」と言い、イラクに対する米アッシュ政権の先制攻撃を肯定、サダム・フセインを滅ぼしたことはよかったとする。

新年1月6日、8日の読売社説は自民党新憲法草案を明確に支持。自衛軍の明記、集団的自衛権の行使を強く打ち出し、在日米軍再編の最終合意に向けて日米同盟の深化を提唱。国際平和の名の下に、米軍の赴く所、どこへでもついでいき、武力行使も辞さないよう提唱する。

巧みな話術で対談を誘導する渡辺主筆が、日本国憲法の戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認の原則こそが、日本の戦争責任を内外に明らかにし、不戦を誓った国際公約であることを知らないわけはあるまい。その最大の証(あかし)を投げ捨てること、戦争責任を明らかにすることが、どこでどのように繋がるかということには触れない。

どうかせ、国防相辞任に追い込まれた。2001年3月の首相就任後はパレスチナ自治区への侵攻を繰り返して歴史的暫定自治宣言(オスロ合意)を崩壊させ、西岸のパレスチナ自治区を囲む長城のような隔離壁を建設してパレスチナ人を押し込め、彼らが将来のパレスチナ国家の首都と切望する東エルサレムをイスラエル領に取り込む計画を強行した。その首相が04年秋、突然ガザからの撤退を言い出した。大イスラエル主義者の豹変であり、「裏切り者」の罵声が上

平和憲法の日本を尊敬

カンボジアの記者がエール

前号でお知らせした通り、昨年11月に韓国で開催されたアジア・ジャーナリスト・フォーラムでの日本代表団の報告に対する、カンボジアからのコメントをお伝えする。

このフォーラムで日本代表団は、自民党の「憲法改正草案」発表とその問題点を指摘した。また、国民の多数が9条改定に反対しており、地方紙を中心にメディアも同じ立場で論陣を張っていることを報告。JCJが市民と力を合わせて9条とともに、言論表現の自由を守るために奮闘する決意であることを強調した。今回はカンボジアニュース



欠落している。読売の主筆とは？(主筆は社説を決定する権限がある。論説委員のチームは、主筆の決定に従わなければならない。選んだ。「朝日」と「共闘」するまでもなく、大いに論陣を張ればよいだろう。戦争責任を論ずるなら、新聞の戦争加担責任を避けて通ることは許されない。読売新聞社史にはその記述が完全に

文明国である日本において、報道の自由と国民の声が、政府による脅迫と無知のもとに置かれようとしているのは、まったく驚くべきことだと思われる。

JCJが、報道の自由と多くの国民の決意を守るべく、9条改定阻止のために闘っているのはすばらしいことだ。独裁的な国家や指導者たちは国民の声を聞こえなくして、自由な報道も必要としない。メディアに対する圧力の最たるものは、日本が最大の援助国となっていたカンボジアで起きた。

それは1980年代、ベトナム軍の占領下におかれていた共産主義支配のころだ。当時、独裁政府は決して国民の声を傾けなかったし、ベトナム政府に指示された政策を隠すためにメディアをコントロールすることが必要だった。

さらに言えば、75年から79年の大虐殺の間には、カンボジア全土に自由な報道は皆無となり、政権は決して国民の声を聞かなかった。

こうした状況を文明国である日本が本当に求めているのか？

自民党は、いまから9条改定を断念しても遅くはない。9月の総選挙で3分の2の議席を与えてもらった国民の意見を聞き、尊重しなければならぬ。国民は同党を支持した。彼らには有権者の意思を尊重しなければならない。

日本は世界でも裕福で、文明国だ。貧しい未開の国々の二の舞をしてはいけない。もし、ある国に報道の自由がないとしたら、それは政府がその政策に対する国民、特

にメディアの意見表明を望まないということだ。いったん政策を決めれば、国家はすべてが完全に履行されることを要求する。たとえば北朝鮮のようにだ。

カンボジアのメディアだけでなく、民主主義、拘束されない報道と表現の自由を愛する世界の同胞は、JCJが国民の思いに深く根ざした日本の憲法を守るために闘つことを、心から支持している。私たちは世界の平和を断固として主張し、戦後60年間平和のうちに生きてきた日本人々を本当に誇りに思っている。

同時に、地球が国際化と統合の中にあつて、戦争は無用なものだ。テロリズム、薬物、人身売買、HIV・エイズ、そして世界共通の悪事との闘いを除いて……(原文は英語)

シャロン首相倒れ、中東混迷

新年早々シャロン・イスラエル首相が重い脳卒中で倒れ、事実上、政治生命を絶たれた。

アリエル・シャロン氏(77)と云えば、100キロを超す巨体と鋭い風貌で中東情勢に睨みを利かせた怪人物。大イスラエル主義者として占領地へのユダヤ人入植を推進、首相就任後は強引な武力行使でパレスチナ人の抵抗を抑圧したタカ派だが、昨年

領地ガザとヨルダン川西岸への入植地拡大運動の先頭に立った。82年国防相としてレバノン侵攻作戦を実行して、当時ペイロートにいたアラファト議長らPLO指導部を追放。この時レバノンのパレスチナ難民キャンプで難民の無差別虐殺を黙認して悪名を

がたがた、シャロン内閣は右派の反対を押し切つて昨年8月中にガザ撤退を終えた。ガザの占領継続は財政上の重荷というのが表向きの理由だが、米国のイラク侵攻泥沼化が直接の引き金だったようだ。イラク侵攻は、プッシュ政権内で台頭したネオコン(新保守派)という名のユダヤ系右派グループの筋書きだった。アラブ諸国の中で最も近代的な国家体制を持つイラクはイスラエルにとって最も危険な存在で、フセイン打倒は米・イスラエル共通の利益だとのネオコンの主張がプッシュ政権を戦争に踏み切らせた。開戦から一年半後イラクが泥沼化、ネオコンの失敗が



ホリプロ『サムワン』 忍び寄る国家統制 鎖が象徴するもの

男3人の芝居である。舞台は、天井から両袖まで、鉄の壁、完璧に覆われ(美術)堀尾幸男、秀逸、しかも登場デザートの梨がないのに気がついて出て、突然捕まってしまう。しかし、舞台ではなにもドラマチックな出来事は起こらない。ただし、ここがレバノンであることが明らかにされたとき、舞台は抽象の世界から現実の世界へと

にメディアの意見表明を望まないということだ。いったん政策を決めれば、国家はすべてが完全に履行されることを要求する。たとえば北朝鮮のようにだ。

カンボジアのメディアだけでなく、民主主義、拘束されない報道と表現の自由を愛する世界の同胞は、JCJが国民の思いに深く根ざした日本の憲法を守るために闘つことを、心から支持している。私たちは世界の平和を断固として主張し、戦後60年間平和のうちに生きてきた日本人々を本当に誇りに思っている。

同時に、地球が国際化と統合の中にあつて、戦争は無用なものだ。テロリズム、薬物、人身売買、HIV・エイズ、そして世界共通の悪事との闘いを除いて……(原文は英語)

現代のジャーナリズム

JCJジャーナリズム研究会
吉原功・編集代表

権力迎合、言論の危機状況を多面的に解析

本書は、JCJの研究会の成果をJCJ創立50周年の記念事業の一環としてまとめ、刊行された。

「市民社会とジャーナリズム」を論じた序章、「戦後六〇年とジャーナリズム」、「選挙報道とジャーナリズム」、「改選問題とジャーナリズム」

書評

本・BOOK・ほん



本書は、「改憲派」「護憲派」の両方にある「結論先ありき」のような部分に「危うさ」を感じ、「私たち国民一人ひとりが、先入観のない視点で憲法を知っておく必要がある」との考えから書かれたものである(あとがき)。

いま知りたい日本国憲法

本書は、「改憲派」「護憲派」の両方にある「結論先ありき」のような部分に「危うさ」を感じ、「私たち国民一人ひとりが、先入観のない視点で憲法を知っておく必要がある」との考えから書かれたものである(あとがき)。

本書は、「改憲派」「護憲派」の両方にある「結論先ありき」のような部分に「危うさ」を感じ、「私たち国民一人ひとりが、先入観のない視点で憲法を知っておく必要がある」との考えから書かれたものである(あとがき)。



「改憲問題とジャーナリズム」丸強制等教育問題から暮ら

短歌

高島 裕(文机)



「単管やぐら」に登るなど、施設局側の業者らの罵詈雑言や暴力に耐えながらの過酷な消耗戦が続く。ところが、海上行動開始から10カ月あまりのある日、業者作業員の言葉に著者は驚いた。「浦島さん、最初の頃、マイクですってしゃべっていたでしょう? あれは、こたえましたよ。」

辺野古一海のたたかい

昨年3月、辺野古沖に立つ「単管やぐら」でのたたかいに2日間だけ参加した。沖縄とはいへ海上では寒さが身にしみ、連日朝から夕方までやぐらを守って、新基地建設のための「ボーリング調査」を阻止し続ける人々の粘り強さに頭が下がった。

昨年3月、辺野古沖に立つ「単管やぐら」でのたたかいに2日間だけ参加した。沖縄とはいへ海上では寒さが身にしみ、連日朝から夕方までやぐらを守って、新基地建設のための「ボーリング調査」を阻止し続ける人々の粘り強さに頭が下がった。

現代の窓

評・小石雅夫

「構造改革」
さらになほ開脚せよと囁けり 海彼にて喚ぶ資本のために
歌壇1月号「日本国売却却同意書」
法案否決。解散総選挙。自民圧勝。
ナチっぽい手つきが快くうっかりと捺印す日本売却同意書に
銀を纏ふ勝ち組 誰ひとり「市場」をふるさとする者はをらず
同 同



カット・吉村ミエ

新しい年が明けた。本来ならすがすがしい思いになるはずだが、年頭の総理会見は、そんな気分をたちまちに吹っ飛ばして現実の日本に引き戻されてしまった。

「黒田清 記者魂は死なず」

有須和也著
河出書房新社 1900円
大阪弁、遠慮なしの筆鋒。舌鋒で、おっさん・おっちゃん、と親しまれ「戦争反対」「差別反対」を貫いたジャーナリスト、没後JCJ新人賞の冠にその名が生き続ける黒田清の伝記。著者は56年生まれの編集者で、黒田ジャーナル設立後10年間の知己。

「ビルマ 軍政下に生きる人々」
宇田有三著(発行・アジア太平洋人権情報センター) 発売・解放出版 2000円
グローバリズムと表裏をなす貧困・戦争と民衆を写した『ごみ捨て場に生きる人々』で第一回JCJ黒田清新人賞を受賞したフォト・ジャーナリストの、13年間にわたるビルマ(ミャンマー)取材の写真集。

映画の鏡

『ホテル・ルワンダ』

大虐殺に立ち向かう アフリカ版「シンドラー」

市民運動が公開を後押し

南アフリカ、英、伊の合作で作られたこの映画は、1994年の4月から7月にかけて、アフリカのルワンダでツチ族とフツ族の長年の争いから起きた、100万人を超え大虐殺に材をとった映画である。その際、1200人を

超えるツチ族と穏健フツ族の難民をかくまった、首都ギガリのベルギー系ホテルの支配人夫妻の、義侠心ある物語を、ドキュメンタリー風に再現したものだ。

第一次大戦後、ドイツから割譲されたベルギーの植民地高責任者に問うべきは政治の問題であって、政局の問題ではないのではないか。

政治問題論者が「マスコミ」の問題で言えば、行き詰まったアシア外交をどう打開するかをどう打ち進めている「改革」の成果をうたいあげた。

この後記者団の質問に移ったが、最初に記者クラブを代表して立った記者の質問は、自民党総裁選での好ましい候補の条件を問うものだった。これを聞いてがっかりした。年頭に当り、今政治の最

新聞 ポスト小泉に熱狂する新年

組、負け組」という言葉が流行していることに象徴されるように、国民の間に広がっている貧富の差をどうするか、耐震偽装問題に見られるように単純に「官から民で

らかにさせる責任がマスコミにはある。 ◎一方的発言を許したまま 2人目の質問者がアシア外交の打開策を具体的に説明し

て欲しいと質問したが、小泉首相は「一国の首相が一国民を迫る意味があった。人口1万人余り、過疎と出稼ぎの村」と評された村が、最初は石油コンビナートの巨大開発、オイルショックでそれらの企業の進出が頓挫すると、

次は核のごみの捨て場にする前、国の新全線の目玉として打ち上げられた「むつ小川原開発計画」をめぐって繰り返された村民同士の激しい抗争の時期から、核燃料サイクル施設の建設が村民に新たな

難題を押し付けている現在に至るまでの、長い苦悩の日々を記録として再現した。 我々の中で、なごりにさ

テレビ 六ヶ所村の苦悩が訴えかける

といた具合に、一方的に振り回され、村民同士が骨肉の争いを繰り返すまでになっ

た経緯は、悲惨で痛々しい。番組では、最初の開発計画が持ち上がった際、「巨大開



め、まずは家族を守るから始めて、流れ込む難民を密にかくまっていた。前半はそうした恐怖と義侠心の間で揺れ動く姿が、そして後半は逃げ惑う難民たちの群集シーンが描かれる。虐殺そのものはロングで描かれる程度だが、群衆シーンの迫力は、『シンドラーのリスト』のアフリカ版という評言がびったりである。

この映画は、昨年の米アカデミー賞で、支配人を演じた

のようには小泉後継の解説、特集記事が溢れた。 ◎厳しい庶民の目 1月10日付の名古屋発行の朝日新聞「声」欄に掲載され

た54歳の主婦の投稿は、「小泉後継問題に」なぜメディアは、ああも大騒ぎするのだろう。まるで国民が、それにしか関心がないと言わんばかりの報道ぶりである。この先も

もっとひどくなるだろう。犯罪が多く生きにくい世の中、

零細企業に従事する人や社会的弱者といわれる人の生活の

厳しさなど、報道に値しない

とも思っているのだろう

に刺さる。 広大な米軍基地を抱えてい

る沖繩の苦悩が他人事として

しか受け止められていない日

本の現状を見れば、こうした

理不尽な出来事を自分の問題として、的確にとらえ直す作

律の専門家を含む民間人が裁一転し0.6%減。スポーツ紙は3.1%減と5年連続のマイナスを示した。(新聞協会報)1月1月号) ◎朝日新聞社が編集改革案公表 記者倫理基準策定へ

朝日新聞長野局長記者による虚偽メモ問題を受けて、編集分野での改革案づくりを進めていた朝日新聞の編集改革委員会(委員長・内海紀雄専務)は26日、記者倫理行動基準の策定や、本社と地方機関とのコミュニケーション、地方取材網の強化などを柱とした報告書をまとめ、秋山敬太郎社長に提出した。改革案は

ほかに▽記事評価制度の新設▽入社時から体系的に記者教育を行う「朝日ジャーナリスト学校」の設置▽社会部、政治部など部への過剰な所属意識を一掃す

るため、部を中心とした現行の枠組みを廃止する一な

を提言し

た。(毎日)12月27日付け

た。記者63人殺害、過去10年で最多

報道の自由を監視している民間団体「国境なき記者団」(本部パリ)は4日、05年に取材中に殺害されたり記事を理由に殺されたりした記者は63人にのぼったと発表した。

死者数は04年より10人増え、過去10年で最多となった。

同団体の報告書によると、死者数が最も多かったのはイラクで、24人が犠牲となった。03年のイラク戦争開戦以降、イラクで死亡した記者は76人となり、ベトナム戦争をはさんだ20年間(1955-75年)の死者数63人を超えた。(読売)1月5日付け

た。一般紙も前回のプラスが

9%減と新聞協会

新聞協会はこのほど05年10月現在の「日刊紙の都道府県別発行部数と普及度」調査結果をまとめた。総発行部数は5255万8032部。前回調査で5年ぶりに増加した発行部数は今回、前年比(以下同じ)0.9%の減少となった。



月間マスコミ評

実は我々にとっても深いところにつながっている重大な問題なのに、時間が経過するにつれて当初の関心が薄れ記憶も失われる、あるいは遠い場所での遠い出来事として、なかなか自分の問題としてとらえられない。日常的に身の回りにあるこうした状況をどう考えたらいいか?

1月7日放送のNHK・E TV特集「核燃の村 苦悩と選択の記録」青森県六ヶ所村

を迫る意味があった。人口1万人余り、過疎と出稼ぎの村」と評された村が、最初は石油コンビナートの巨大開発、オイルショックでそれらの企業の進出が頓挫すると、

次は核のごみの捨て場にする前、国の新全線の目玉として打ち上げられた「むつ小川原開発計画」をめぐって繰り返された村民同士の激しい抗争の時期から、核燃料サイクル施設の建設が村民に新たな

難題を押し付けている現在に至るまでの、長い苦悩の日々を記録として再現した。

我々の中で、なごりにさ

た経緯は、悲惨で痛々しい。

番組では、最初の開発計画が持ち上がった際、「巨大開

たように「小泉後継」自民総裁選を占む(毎日)など

業や県、国などの強引で非情なやり口も浮かび上がらせ

た。進出企業をあてにして漁業を止めた挙句、今では焼き鳥屋を細々と営む中年男性が

「日本の中の取るに足らない小さな六ヶ所村が、日本のエ

ネルギーという大きな課題を押し付けられ、村民同士互いに憎しみ合う状況に追い込ま

れている現状を、あんな方は想像もできないだろう」と涙ながらに指摘した言葉は、胸

緊急発言

横須賀基地へ原子力空母を配備するという問題は、地元には大きな懸念を引き起こしている。かねてから、過酷な条件下の原子力空母の原子炉は原燃よりも危険、と指摘する地元の平和団体を中心に、幅広い反対運動が組織され、昨秋には代表団が訪米して配備反対を訴えた。その代表団に参加した鈴木千尋さん、長年活動してきた広沢努さんは、原子力空母配備反対の署名運動に取り組んでいる。キティホーク乗員による殺人事件への思いも含め、横須賀の平和運動の現在を語ってもらった。

1月3日の殺人事件をどう受け止めたか？
広沢 最初はG-1が起ったとは知りませんでした。怒りよりも前に、何でこんな事件が起きてしまったのだろうと思いましたね。
横須賀が米空母の母港となつたのは1973年。横須賀に来る前から空母ミッドウェーの乗組員たちが母港化に反対していました。当時の米軍は徴兵制で兵士の待遇も悪かった。人種差別や上官のひどい行いなど、軍隊の問題を追及する運動が隊内でもあったのです。兵士たちにも、歓迎されていない海外の港を母港とするのは自分たちの利益ではなかった。私たちは彼らの運動を支援してきた経過があります。米兵だから、アメリカ人だから危険だという姿勢はとりません。

もちろん当時、こうした凶悪事件は起きていました。私は高校生でしたが、昼間でもドブ板通りを歩くなんてできない。まして女子高生がアソコを歩いているなんて考えられなかった。
でも兵士が犯罪に走る背景として軍隊の中に様々な問題がある。犯罪に走った個人を追及するだけでは解決しない

んなことは言っています。母港を維持するためにも、犯罪が頻発するような状態はならんとしても避けなければならぬと、米軍も考えている。だから問題のありそうな兵士は帰してしまおう。艦船が交代しても新しい人はなるべく入れず、いま乗船している人を新しい船に乗せる。マリファナを吸った程度で不名誉除隊させるなど厳しい態度をとる一方で、勤め上げれば将来の保障があるようにしている。
76年に志願制になってから、米軍では経済的に苦しい人、職や資格のない人の割合が高くなっています。そうしたなか、3年ぐらい勤めれば本国に帰れて職を斡旋してく

定されるわけですが、その時点で身柄の引き渡しや何らかの証拠保全があってもいい。今回はそこまでいかず、2日間横須賀が基地内に入って事情聴取をしたわけですね。
ただ防犯カメラに映っていないから、横須賀署はわからないから問い合わせをしなうに出会いました。彼は、KILL」というのを叩き込まれると聞いていましたね。女でも年寄りでもKILLだ起したのかとも思っても、米軍がそれ以上のことをやるかどうか。そこまでは保証されてはいない。
3年ほど前にG-1からストーカー行為を受けているという相談があって、私たちは米軍の犯罪捜査局に問い合わせしたことがあります。問い合わせ

わせた段階で捜査局はすぐ動いて事実関係を確認し、本人は強制送還になりました。このようにこちらから言えば動く可能性はある。でもそれまで半年間は何もしていないから、そういう点でも地位協定の改定は必要です。
軍隊は暴力装置だというのが根底にある。
広沢 海兵隊の訓練などでも明らかですね。容疑者は水

兵で海軍のジェット機を飛ばすための作業をしている兵士のように、軍事訓練は受けているはずだし、軍隊の間には関連団体のヨコスカ平和船団が海上デモをする。(3月から)
<http://homepage3.nifty.com/hikakusimin/>
原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会
原子力空母配備反対署名に取り組んでいる。現在、第3次署名を受付中。署名用紙はHPからダウンロードできる。
<http://www.pasopit.co.jp/cvn/>



と非ヨコスカ市民宣言活動で活躍する広沢努さん(右)と鈴木千尋さん(左)。

た。彼はなせやっていますか。たのどうかと思えます。個人の資質だけの問題だろうか。だから、米軍の責任者は「ああいう凶暴な人間を見逃してごめんなさい」で済ませてはいけません。
日米地位協定も問題では？
広沢 この事件で起訴前の身柄引き渡しは早かったのは確かです。そうせざるを得なかったのだでしょう。たまたま防犯カメラに映っていたので横須賀署が問い合わせをしたのですが、その時点で基地では容疑者の身柄を拘束していません。彼は朝方、血まみれで帰ってきたわけですから、何かあったとその段階で拘束している。それから犯罪が特

原子力空母配備以外の可能性はないのか調査して、通常型空母のケネディの修理に予算がつけられたことがわかりました。日本政府の言う、原子力空母しかないという説明は間違いで、これで諦めることはできない。ただケネディはアメリカに残り、横須賀に来るわけではない。日本政府が求めない限り通常型空母配備にはならないこともわかりました。

アメリカのNGOの人と話をすると「相手の嫌がるものを配備する」という世論を私たちが盛り上げようとしても、日本政府がOKと言っているのは難しいといわれました。米政府関係者は、原子力空母は安全だし快適だと主張し、変化が必要だと言っている。今のようなら、自分たちでも起きなければ、自分たちでも原子力空母配備で合意したという文書はありませぬ。でもメディアでは合意と報じられます。アメリカでは合意も必要ないという議論です。従来のものの性能がよくなるだけという感覚です。議会関係者は、日本政府が本心に嫌がるなら、やらなければいい。でもずっとゲート前でイラク戦争反対の抗議活動をしていると、「自分もペラペラに戦争反対と書いて掲げていると寄ってくる人もいます。今回、署名を集めていても若い人の方が反応はいい。
鈴木 神奈川新聞の調査を見ると、若い人は意見がはっきりしています。年配の人は「しょうがない」という答えが多い。若い人には、はっきり基地容認という意見も「基地はなくなつたほうがいい」という意見もともに多い。議論が明確になってきている？
広沢 だからこそ僕らに限らず、いろいろな運動や表現の可能性があると思えますね。

アメリカのNGOの人と話をすると「相手の嫌がるものを配備する」という世論を私たちが盛り上げようとしても、日本政府がOKと言っているのは難しいといわれました。米政府関係者は、原子力空母は安全だし快適だと主張し、変化が必要だと言っている。今のようなら、自分たちでも起きなければ、自分たちでも原子力空母配備で合意したという文書はありませぬ。でもメディアでは合意と報じられます。アメリカでは合意も必要ないという議論です。従来のものの性能がよくなるだけという感覚です。議会関係者は、日本政府が本心に嫌がるなら、やらなければいい。でもずっとゲート前でイラク戦争反対の抗議活動をしていると、「自分もペラペラに戦争反対と書いて掲げていると寄ってくる人もいます。今回、署名を集めていても若い人の方が反応はいい。
鈴木 神奈川新聞の調査を見ると、若い人は意見がはっきりしています。年配の人は「しょうがない」という答えが多い。若い人には、はっきり基地容認という意見も「基地はなくなつたほうがいい」という意見もともに多い。議論が明確になってきている？
広沢 だからこそ僕らに限らず、いろいろな運動や表現の可能性があると思えますね。

横須賀が米空母の母港となつたのは1973年。横須賀に来る前から空母ミッドウェーの乗組員たちが母港化に反対していました。当時の米軍は徴兵制で兵士の待遇も悪かった。人種差別や上官のひどい行いなど、軍隊の問題を追及する運動が隊内でもあったのです。兵士たちにも、歓迎されていない海外の港を母港とするのは自分たちの利益ではなかった。私たちは彼らの運動を支援してきた経過があります。米兵だから、アメリカ人だから危険だという姿勢はとりません。

わせた段階で捜査局はすぐ動いて事実関係を確認し、本人は強制送還になりました。このようにこちらから言えば動く可能性はある。でもそれまで半年間は何もしていないから、そういう点でも地位協定の改定は必要です。
軍隊は暴力装置だというのが根底にある。
広沢 海兵隊の訓練などでも明らかですね。容疑者は水

アメリカのNGOの人と話をすると「相手の嫌がるものを配備する」という世論を私たちが盛り上げようとしても、日本政府がOKと言っているのは難しいといわれました。米政府関係者は、原子力空母は安全だし快適だと主張し、変化が必要だと言っている。今のようなら、自分たちでも起きなければ、自分たちでも原子力空母配備で合意したという文書はありませぬ。でもメディアでは合意と報じられます。アメリカでは合意も必要ないという議論です。従来のものの性能がよくなるだけという感覚です。議会関係者は、日本政府が本心に嫌がるなら、やらなければいい。でもずっとゲート前でイラク戦争反対の抗議活動をしていると、「自分もペラペラに戦争反対と書いて掲げていると寄ってくる人もいます。今回、署名を集めていても若い人の方が反応はいい。
鈴木 神奈川新聞の調査を見ると、若い人は意見がはっきりしています。年配の人は「しょうがない」という答えが多い。若い人には、はっきり基地容認という意見も「基地はなくなつたほうがいい」という意見もともに多い。議論が明確になってきている？
広沢 だからこそ僕らに限らず、いろいろな運動や表現の可能性があると思えますね。

横須賀が米空母の母港となつたのは1973年。横須賀に来る前から空母ミッドウェーの乗組員たちが母港化に反対していました。当時の米軍は徴兵制で兵士の待遇も悪かった。人種差別や上官のひどい行いなど、軍隊の問題を追及する運動が隊内でもあったのです。兵士たちにも、歓迎されていない海外の港を母港とするのは自分たちの利益ではなかった。私たちは彼らの運動を支援してきた経過があります。米兵だから、アメリカ人だから危険だという姿勢はとりません。

ホームページから
<http://www.jcj.gr.jp>
「E T V 2001」番組改変問題に関する公開質問書
「E T V 2001」で放映された「戦争をどう裁くか」(4回シリーズ)中の第2回「問われる戦時性暴力」番組改変問題は、昨年1月に長井暁NHKチーフ・プロデューサーの内部告発により、政治介入の新たな事実が明らかになった。にもかかわらず、政治家の強弁とそれを支援するNHK、問題を提起しながら取材の方法で曖昧な態度をとる朝日新聞とによって、事実解明や再発防止への議論は深まらないままだ。
@その核心を明らかにするよう迫るNHKと安倍・中川両氏への公開質問文書が、10日にJCJも含めた18団体の連名で公表された。しかし、メディアの反応はきわめて鈍いようだ。JCJWEBは質問書の全文を掲載したが、多くの民主的WEBがこれを取り上げることに、政治的介入を排除することを、ジャーナリスト・市民の努力で果たしたいものである。
<http://www.jcj.gr.jp/NHKissue.html#20060112> (JCJWEB)
http://www.geocities.jp/hoso_katarukai/ (放送を語る会)

●コミックJCJ●
ポチよりも、せめてなりたやブッシュのアイボウ(字余り) 江草晋二
JCJ北海道支部は「ジャーナリスト岡山」2005年初冬号を発行した。昨年他界した秋原嗣郎、原憲正両氏への追悼文を中心に、首相の靖国参拝違憲判決への感想、戦時下の思い出と共謀罪法案などを掲載している。問い合わせは、〒700-0972 岡山市上中野2-20-33 04藤井正人まで。

東京月島で交流集会
マスコミ9条の会(代表・マスコミ9条の会)が、1月28日(土)午後1時30分から東京・月島の月島区民館で「とことん討論! 9条・国民投票法・マスコミ報道」と題して会員交流の集会を開く。
原寿雄(ジャーナリスト、元共同通信)、岩崎貞明(マスコミ9条の会)が
ディア総研・放送レポート編集長、梅田正己(JCJ出版部会代表、桂敬一(立正大学教授)の各氏が発言する。定員100名、参加費無料。問い合わせはFAX03-3291-6478 JCJまたは携帯090-3499-5448 仲楽間まで。
JCJ北海道支部は「ジャーナリスト岡山」2005年初冬号を発行した。昨年他界した秋原嗣郎、原憲正両氏への追悼文を中心に、首相の靖国参拝違憲判決への感想、戦時下の思い出と共謀罪法案などを掲載している。問い合わせは、〒700-0972 岡山市上中野2-20-33 04藤井正人まで。

私のお気に入り
井上 靖
「あすなる物語」
この本を読んだ前後に、ジャーナリストという言葉を知った。ジャーナリスト、新聞記者になる」と思ったのは、中一の時ということになる。小寺松雄